

企画展「墨が彩る書と画—京の学校文化財—」開催記念 特別対談

禅に学ぶ、京都の未来

～ 瓢鮎図<sup>ひょうねんず</sup>が問いかける、変化の時代における智慧～ の開催について

この度、京都市学校歴史博物館企画展「墨が彩る書と画—京の学校文化財—」を記念して、標記の特別対談を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

今回の対談は、日本史の教科書にも記載されており、日本の水墨画の歴史における重要な作品である国宝「瓢鮎図」の模本と高精細複製品の二幅を本企画展にて期間限定で特別展示することに合わせ、実現に至ったものです。

記

- |         |                                                                                         |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日 時   | 令和 7 年 10 月 26 日（日） 13 時 30 分～15 時（90 分）                                                |
| 2 内 容   | 教育と文化が果たすべき役割や課題について、妙心寺退蔵院副住職 松山大耕 氏と学校歴史博物館館長 佐々木丞平が、妙心寺退蔵院に伝わる国宝「瓢鮎図」をキーワードに、語り合います。 |
| 3 会 場   | 京都市学校歴史博物館（京都市下京区御幸町通仏光寺下る橘町 437）                                                       |
| 4 定 員   | 60 名（事前申込要／先着順）                                                                         |
| 5 参 加 費 | 無料（ただし別途入館料 ¥400 が必要）                                                                   |
| 6 申込方法  | 電話で当館までお申込みください。<br>電話番号：075-344-1305（受付時間 9 時～17 時 ※水曜休館）<br>※京都市内の小・中学生は土曜日・日曜日入館無料   |
| 7 申込締切  | 令和 7 年 10 月 25 日（土）                                                                     |

特別展示 10/2～11/30



妙心寺退蔵院副住職  
松山大耕 氏



京都市学校歴史博物館  
佐々木丞平 館長



国宝 如拙「瓢鮎図」  
（妙心寺退蔵院蔵）  
江戸時代の模本・高精細複製品  
※模本・複製品のみの展示

# 禅

企画展「墨が彩る書と画—京の学校文化財—」開催記念 特別対談

## に学ぶ、京都の未来

ひょうねんず

～瓢鮎図が問いかける、変化の時代における智慧～

令和7年

10.26 (日) 13時30分～15時  
(13時 受付開始)

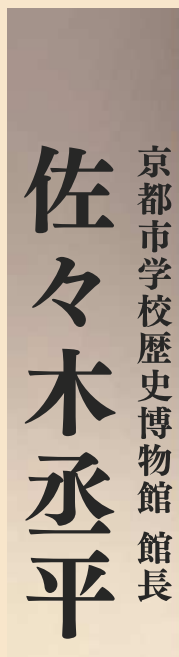
会 場 京都市学校歴史博物館

参加費 無料(別途入館料¥400が必要)

定 員 60名(要事前申し込み・先着順)



妙心寺 退蔵院 副住職  
**松山大耕氏**



京都市学校歴史博物館 館長  
**佐々木丞平**

伝統と革新が共存する京都という地で、教育と文化が果たすべき役割、そして現代社会が直面する課題について、両氏の視点から深掘りします。

特に退蔵院に伝わる国宝「瓢鮎図」をキーワードに、その哲学に迫ります。

### 申込方法

電話(075-344-1305)で  
お申し込みください。  
締切:10.25(土)



詳しくは当館HP



同時開催

### 特別展示

10.2(木)から

11.30(日)まで

国宝 如拙「瓢鮎図」  
(妙心寺退蔵院蔵)

江戸時代の模本  
高精細複製品

※模本・複製品のみ展示



**京都市学校歴史博物館**

Kyoto Municipal Museum of School History



**京都市**  
CITY OF KYOTO



T E L / 075-344-1305

F A X / 075-344-1327

E-mail / rekihaku-jigyoku@edu.city.kyoto.jp

〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る橘町437

9時～17時(入館は16時30分まで) ※水曜休館(休日の場合は翌平日)

●この印刷物が不要になれば、「雑がみ」として古紙回収へ